

筒井順慶画像の模写

一九九四年四月から八月にかけて筒井順慶画像の模写を行った。以下はその記録である。

一、原本と模写製作

(1) 原本観察

史料編集所所蔵／絹本着彩／軸装

シミや、若干の変色がみられるものの、ほぼ現状に近い状態で保存されている。

(2) 模写の手順

○まず原本の上にポリエステルフィルムを敷き、その上に髹水を施した和紙を置き、上げ写しを行う。

○袈裟の部分の模様を朱・群青・緑青・茶で上げ写しをする。

○シミを、黄土＋焼白緑の上澄みで上げ写しをする。

○別に用意した髹水を引いた和紙で、模様を上げ写しをする。

○裏打ちをした後、仮張りに張る。(本所技術官中藤靖之氏による)

○薄く全面に胡粉を塗ったあと古色を塗る。

○彩色を行う。彩色後、古色付けをおこない全体を整える。

(3) 顔料

使用した顔料は、次頁の表と図に示した通りである。

村岡ゆかり

群青・緑青は、古色を出すために少し焼いてある。

尚、上緑青の模様の下地は、おそらく裏彩色で金箔が張ってあったと思われるのだが、紙では再現できないのであるべく原本に近くように金泥や岱赭・黄土などを使い工夫した。

二、材料

《和紙》楮紙(楮一〇〇%、pH値七・三、紙舗直製)

《顔料》墨・胡粉・藍・岱赭・辰砂・白緑・緑青・群青・黒泥・藤黄・雲母・金

《接着剤》三千本膠(約二〇〇ccの水に対して三千本膠一本の割合)

《筆》彩色筆・削用筆・狼狸面相・水筆

三、製作を終えて

原本の保存状態が良好なため、墨の線の描写や絵の具の選択・彩色などは、やり易かったといえる。しかし、原本が絹で描かれているために絹の光沢によって出る色の質が紙の質とは違うことなどから、微妙な色の調子を出すことはできなかった。また、裏彩色の表現が紙ではできないことも苦労したといえる。墨の衣の上の模様は銀泥が変色したものだと思われるが、模写は市販の変色加工された銀(黒泥)を使用したた

め、全体の雰囲気は似ているが、原本の銀泥とでは色の印象と質が少し違ったものになってしまったと思う。以上、いくつかの問題点が出てき

たが、今後はこれらを課題として製作を続けていくつもりである。

模写に使用した顔料表

	使用した顔料
顔	胡粉地に薄く岱赭・墨
口	辰砂
a	藍の地に金泥の模様／墨
b	胡粉地に金泥の模様／墨
c	岱赭地に金泥の模様／墨
d	墨地に黒泥の模様
e	胡粉地に具墨の線／金泥 辰砂・群青（13番）・緑 青（13番）・墨＋岱赭
f	群青（11～9番）地に金 泥の模様 岱赭＋黄土の上に薄く金 泥／白緑・緑青（13番） の模様
g	胡粉・雲母
h	白緑の上に草の汁（藍＋ 藤黄）
i	岱赭・胡粉
j	緑青（9番）
k	胡粉地に墨・胡粉の模様
l	胡粉の上に墨



筒井順慶画像模写・図